

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

＜項目＞

第2章 疾病別の医療連携体制の構築

第3節 急性心筋梗塞

とりまとめ担当課：保健福祉局保健医療部医療課

1 課題に対する平成26年度の実績

(1) 予防
→県内の各団体・関係機関や市町村とともに健康づくりを推進するために、かながわ健康プラン21推進会議を開催(2回)、神奈川県生活習慣病対策委員会(各種部会1回、かながわ健康プラン21目標評価ワーキング1回)を開催(1回)し、事業検証を行うとともに、県民、関係団体、行政間で効果的な推進を図るための検討を行った。 →県民、企業、学校、行政が一体となって、円滑に計画を推進するため、かながわ健康プラン21地域・職域連携推進部会を開催(1回)、市町村への情報提供及び連絡調整のため、市町村健康増進事業主管課長会議を開催(2回)するとともに、研修、健康教育を実施した。 →かながわ健康プラン21推進会議の構成団体がイベントやセミナー等(かながわ健康財団による各種イベントにおける簡易測定等)を開催した。またそれらイベントの情報を取りまとめ、ホームページで情報提供した。 →県民に対し、より効果的な施策の推進を図るため、有識者や先進的な取り組みを行う民間企業、自治体等により検討を行う健康寿命日本一戦略会議(平成25年5月設置)を開催した。 (2回) →健康寿命日本一を目指して、「食」「運動」「社会参加」の取り組みを社会全体で取り組むよう発表した「未病を治すかながわ宣言」(平成26年1月)に基づき、県民が未病を治す取り組みを実践し、生活習慣病の予防等を図る「未病センター」構想を推進した。
(2) 医療
ア 病院前救護体制及び急性期医療 →救急患者の円滑な搬送に資するため、医療機関の応需情報を、消防機関や医療機関に提供する県救急医療情報システムを運用するとともに、システムの利便性を向上するため、タブレット型端末で利用できる等、新たな機能を付加したシステムの開発に向けて検討した。 →県民の救命率の向上を図るため、県内の全交番等警察施設にAED(計658台)を設置した。 →二次救急医療機関のうち、専門科(心疾患)医療機関の運営に必要な経費(報酬、給料、職員手当等、法定福利費、賃金等)に対して補助を実施した。(補助施設6施設、補助金額

	19,208 千円)
	イ 急性期後の医療 →在宅要介護者を介護する者（在宅介護者）への訪問歯科保健指導に必要な機器等の購入補助。（平成 26 年度 16 件）
	ウ 医療機能の情報提供及び連携の推進 →急性心筋梗塞の治療に対応できる医療機関について、県内の医療機関からの報告を受け、かながわ情報検索サービスのホームページにおいて公表した。

2 目標値の推移

取組 区分	名称	単位	策定時	実績値	達成目安	目標値 (H29 年度)	達成率 (%)	備考
(1)	特定健康診査の実施率 (再掲)	%	40.3 (H22)	42.9 (H24)	48.7	70.0 以上	△ (30.9)	医療費適正化計画
(2) ア	急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈形成手術件数	件	2,403 (※1) (H22)	339 678 (H26)	2,487	2,550(※2)	△ (-2,457)	NDB
(2) イ	心臓リハビリテーションが実施可能な医療機関数	施設	37 (H23)	43 (H26)	40.9	45	◎ (153.8)	診療報酬施設基準
—	男性 虚血性心疾患年齢調整死亡率 (人口 10 万対)	%	33.9 (H22)	—	—	27.9 (H34)	—	かながわ健康プラン 21（第 2 次）
—	女性 虚血性心疾患年齢調整死亡率 (人口 10 万対)	%	12.7 (H22)	—	—	11.6 (H34)	—	かながわ健康プラン 21（第 2 次）

※1 平成 22 年 10 月から平成 23 年 3 月までの 6 か月間の件数

※2 平成 29 年度中の 6 か月間の件数

3 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県内			備考
				H24 年度	H25 年度	H26 年度	
(1)	◎	健康診断・健康検査の受診率	%	68.2 (H22)	66.3 (H25)	66.3 (H25)	H22、H25 年国民生活基礎調査
(2) ア	◎	心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数【都道府県】	件	64 (H23)	99 (H24)	128 (H25)	H23、H24、H25 救急・救助の現状

(2) ア	◎	急性心筋梗塞による死亡率 (男性)	%	21.9 (H22)	21.9 (H22)	21.9 (H22)	H22 年都道府県別年齢調 整死亡率
(2) ア	◎	急性心筋梗塞による死亡率 (女性)	%	7.9 (H22)	7.9 (H22)	7.9 (H22)	H22 年都道府県別年齢調 整死亡率

4 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 予防

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	「かながわ健康プラン21（第2次）」の推進 - 健康寿命の延伸を図る「未病を治す」取組みの推進により、生活習慣病対策に向けた食生活の改善、運動の習慣化などを県民が実践できる環境づくりの促進が図られた。 - 数値目標に掲げる特定健康診査の実施率については、数値目標の目安に対して達成が遅れている。
評価理由	「健康寿命日本一」（健康寿命の延伸）の課題達成に向け、着実に進捗しているが、特定健康診査の実施率については、数値目標の目安に対して達成が遅れるなど、全体としては、課題解決に向けてやや進捗が遅れている。
今後の取組の方向性	- 新たな取組等が県民の健康づくりに定着化するよう、市町村、企業・団体と連携して取り組む。 「未病を治す」取組みを推進する中で、特定健診実施率の向上に取り組む。

(2) 医療

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	ア 病院前救護体制及び急性期医療 - 二次救急医療機関の運営に対して助成したことにより、県央医療圏における急性心筋梗塞に係る二次救急医療体制の確保が図られた。 - 参考指標に掲げる心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数については、前年に比べて減少しているものの、過去からの推移に照らして見ると、AEDの普及等により増加傾向にある。 - 数値目標に掲げる急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈形成手術件数は、数値目標の目安に対して達成が遅れている。 イ 急性期後の医療 - 整備された機器を用いて、在宅介護者等を対象とした誤嚥性肺炎防止等の知識、技術的指導を行い、在宅療養者の口腔ケアの充実が図られた。 ウ 医療機能の情報提供及び連携の推進 - 急性心筋梗塞の治療に関する医療機能について、必要な情報提供が果たされた。
評価理由	急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈形成手術件数の数値目標の目安に対する達成状況に遅れが見られるものの、急性期医療及び急性期後の医療において必要な機器

	等の整備がされ、数値目標の目安も達成しており、比較的順調に進捗している。
今後の取組の方向性	・在宅医療の取組みについて検討するとともに、AED設置や県救急医療情報システムを運用など、病院前救護体制及び急性期医療の充実に努める。 ・急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈形成手術件数については、策定時と集計方法が変更となっているため、集計方法がそろそろ来年度に数値の経年変化を確認し、数値目標の見直しも検討する。

5 総合評価

評価	評価理由
B	「かながわ健康プラン21（第2次）」に基づき、予防体制が整備されつつあり、医療体制についても、医療計画の取組が概ね着実に進められており、数値目標についても、目安を概ね達成しており、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。

6 特記事項

--